

木材簡易薬液注入技術の研究開発

平成10年度～14年度（県単）

秦 広志・並木勝義

木材の新用途開発と、間伐材の有効活用を図るために研究を行い、木材に樹脂を注入含浸させた木質タイル等の試作を繰り返してきたが、ヒノキのフローリング板を使用した木質タイル風の内装材が一部実用化されたので報告する。

1．実用使用された木質タイル風フローリング

この木質タイル風の内装材は、県内で生産されるフローリングの需要拡大と用途拡大を目的に開発を行った。ヒノキ板目材の長手方向に等間隔でカット溝の加工を施し、表面に耐水性のウレタン系塗料を塗布したもので、タイルのように一枚一枚制作するのではなく、一度に多くのタイル状の加工が出来るため、製造コストと現場での施行手間の低減を図ったものである。

2．使用状況

上野市の県営住宅（カーサ上野）集会所の洗面所内装として使用された（写真 - 1～3）。集会所という建物にもマッチし、景観的にも優れた仕上がりで工事関係者には好評であった。今後は、実際に使用に供されている中での経過観察をしていく予定である。



写真 - 1．集会所全景



写真 - 2．使用状況



写真 - 3．使用状況